

人 チーム 制度



私たちの“働き方改革”

(株) 福山コンサルタント

会社プロフィール

本社：福岡市
主要拠点
(福岡、北九州、広島、東京、仙台)

社員数：204名

「働き方改革」への取り組み・経緯

H23年 □残業削減のための
時短委員会発足
H27年 □ワークライフバランス
のためのワーキング発足

(株)福山コンサルタントでは、「働き方改革」への取り組みとして、在宅勤務制度やサテライトオフィスの試行が実施されています。これらの取り組みについてのこれまでの評価、今後の展望についてお話を伺いました。

“在宅勤務”、“サテライトオフィス”の内容を簡単に教えて下さい。

多様な働き方に向けての取り組みとして、「在宅勤務」、「サテライトオフィス」の試行に取り組んでいます。現在は、これらの制度は、東京支社の技術系総合職(入社5年以上)等を対象に、月利用回数、利用場所等を限定して試行している段階です。

制度	実施時期	対象者	利用条件	利用状況	備考
在宅勤務制度	H29年4月から試行中	東京支社技術系総合職(入社5年以上)の35名	月6回(残業不可)	14名	H29年11月より育児・介護の社員は全社で利用可に拡大
サテライトオフィス	H30年8月から試行中	東京支社総合職(入社5年以上)の42名	・月6回(残業不可) ・会社契約のサテライトオフィス、他営業所での実施	・サテライトオフィス利用：6名 ・営業所利用：3名	

なぜ、東京支社限定なのですか？

他支社に比べて、東京は通勤時間、混雑等の労務環境が過酷です。これらの対応として、東京支社で先行して多様な働き方への対応策を検討してきました。

社内や利用者の評価はいかがですか？

在宅勤務については、「集中して作業ができる」、「通勤時間がない分、子供の送迎を家族で分担することが出来、家族からの評価も高い」といった声があります。

また、サテライトオフィスについては、「打合せ後直ぐに社内会議の場として利用することで、業務を効率的・効果的に進められる」、「打合せ前後に利用することで直行・直帰しやすくなった」、「外出の間にも作業ができる」といった声があり、業務の効率化、労働時間の縮減に効果を発揮していると感じています。

試行により見えてきた課題はありますか？

在宅勤務については、利用者が限定的であることや、残業時間帯の取扱いをどうするか、といった課題があります。全社展開を見据えて、より利用しやすい制度とするための検討を進めています。

サテライトオフィスについては、現時点では残業時間帯や休日出勤の利用等について課題がありますが、秘密保持、時間管理の点から有効であると考えています。このため、対象者の拡大(入社2年以上)、利用時間帯の拡大(8~20時)をまずは東京支社内で検討していきます。

働き方改革の今後の展望を教えてください。

弊社では、ご紹介した制度以外にも、労働時間縮減に向けた多様な働き方の取り組みや育児・介護支援制度の拡大について検討を進めています。

また、社員の意識改革も重要です。社員の意識改革を促すために、えるぼし、くるみんの認定等を目標に置き、取り組みを進めていきたいと考えています。

ただし、現時点では労働時間縮減と多様な働き方についてのいくつかの施策を総合的に運営できているのか疑問に思う部分もあります。今後も社員の意見を取り込みながら取り組みを進めていきたいと考えています。



社長と若手社員の意見交換も行われています